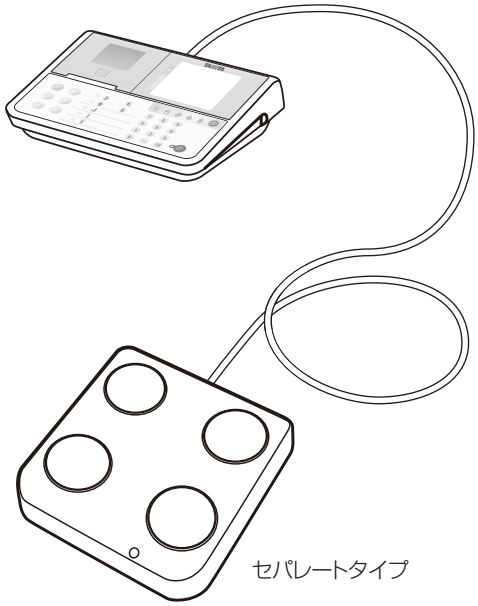
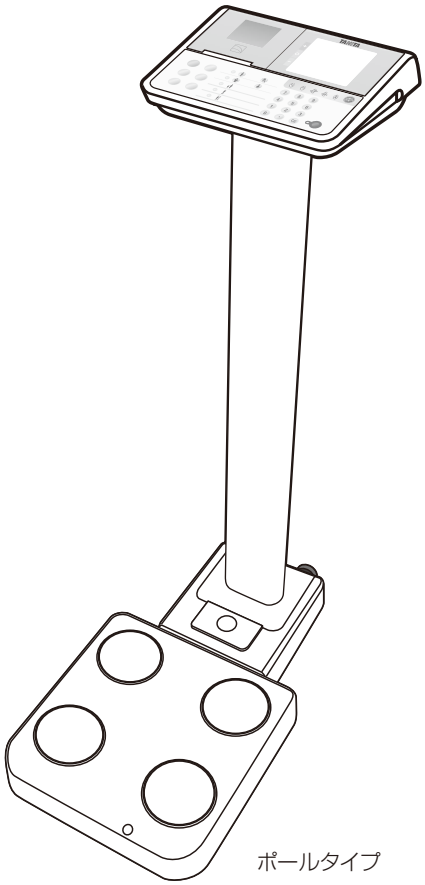
TANITA
健康をはかる

取扱説明書

デュアル周波数体組成計
DC-430A



セパレートタイプ



ポールタイプ

※本書に記載されているイラストはイメージ図です。

もくじ

ご使用まえに
- 安全上のご注意……2
- お願い……4
- 各部の名称と付属品……6
- 準備する……8
- 印刷用ロール紙のセット……9

使いかた
- いろいろな設定……9
- はかりかた(体組成計として使う)……17
- はかりかた(体重計として使う)……20

結果のみかた
- 各種の判定基準……21

必要なとき
- 故障かな?……25
- パソコンと接続するとき……27
- 製品仕様……30
- 重力補正について……31
- アフターサービスについて……32

お 願 い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

本機はデュアル周波数測定方式を採用し、さらにリアクタンス測定機能を搭載しています。この最新テクノロジーにより、細胞レベルの変化、個人差を反映した分析が可能になり、体脂肪率、筋肉量、体水分量などの体組成を、より高精度に算出できるようになりました。

安全上のご注意 必ずお守りください

本書では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本機を正しく安全にお使いください。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。

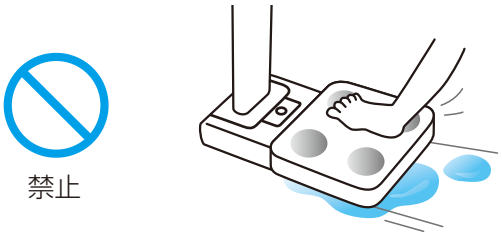
してはいけない「禁止」内容です。　「必ず守っていただく強制」内容です。

⚠ 警告

体組成測定時、ペースメーカー等、医用電気機器装着者は絶対使用しない

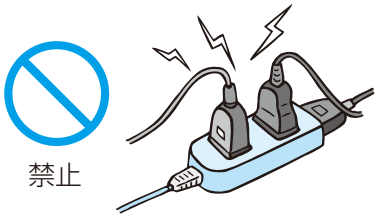
本機は、微弱な電流を体内に流しますので、医用電気機器が誤動作し、重大な事故発生の原因になります。

タイル面やぬれた床など、すべりやすい所には絶対に置かない



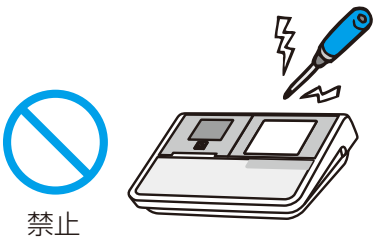
転倒したり、すべったりして、大けがをするおそれがあります。
また、本機内部に水が入り、故障の原因になります。

タコ足配線をしない



火災のおそれがあります。

分解や改造は絶対にしない



感電やけがのおそれがあります。
また、精度の保証ができません。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電や、火災・漏電の原因となります。

■測定結果の評価や、それに基づく運動メニュー等は、自己判断しない
必ず医師、または資格を持った専門家の指示に従ってください。

■からだの不自由な方がご使用になるときは、1人で測定させない
付き添いの方がサポートしてください。

■水まわり注意
水まわり等、本機が濡れるおそれのある場所では使用しないでください。故障の原因となります。

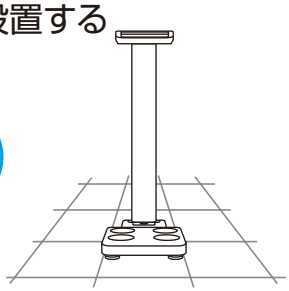
■感染予防
手足等の本機に直接触れる部位に傷や炎症がある方の場合、病気感染のおそれがありますので使用しないでください。

■電源コード脱着時の警告
電源コードを外した直後は、電源の接点端子に触れないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

安定のよい、硬く、水平な場所に設置する

強制



転倒してけがをしたり、測定できない場合があります。

絶対に飛び乗らない

禁止

転倒してけがをするおそれがあります。

絶対に寄りかからない

禁止

転倒してけがをするおそれがあります。

■本機の隙間や穴に指を入れない
けがをするおそれがあります。

■測定の前に、電極板とその周辺部を消毒用アルコールで拭く
素足で測定しますので、病気感染のおそれがあります。

■電波障害を受けやすい電子機器等は、本機からの電波障害がないことを確認して使用する
本機はクラスB情報技術装置（主に家庭環境で使用されることを意図した装置）の基準およびCE(欧州EMC指令)に対応していますが、弱い機器の場合は影響を受けるおそれがあります。

■機器の併用はしない
本機で測定中に、他の機器の測定は行わないでください。（例えば、体組成の測定中に、血圧測定を行うなど）
正確な測定ができない場合や、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■金属（ステンレス）アレルギーのある方には使用はしない
本機は、電極にステンレス鋼を使用しているためアレルギー反応がでるおそれがあります。

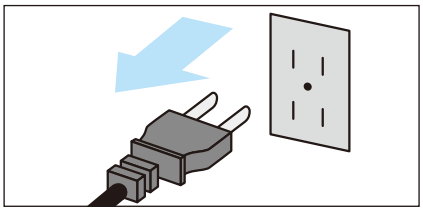
■持ち運ぶときや収納するとき

- ●下部の補助脚が収納されていることを確認する。（ポールタイプ）
- ●本体を傾け、キャスターで移動する。（ポールタイプ）
- ●無理に持ち上げようとすると、腰を痛めるおそれがあります。
- ●移動時は本体に衝撃を与えないよう、やさしく丁寧に扱う。
- ●移動時に人や物を載せない。
- ●キャスターで屋外を移動しない。屋内の移動を想定したキャスターのため、故障の原因となることがあります。（ポールタイプ）
- ●測定台の樹脂カバー部分を持って運ばない。

緊急停止

緊急時に備え、本機操作の間はコンセントの周りに物を置かないでください。

緊急時は電源を引き抜いてください。



お願い

正確にはかるために

激しい運動をした後は、測定を避ける

測定値に誤差を生じるおそれがあります。充分休んでから、測定してください。

温度変化の激しい場所では測定しない

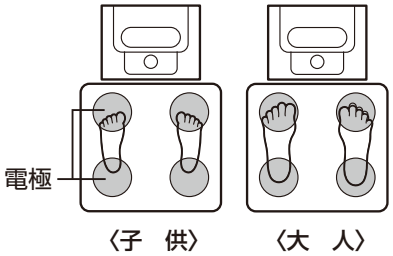
測定値に誤差を生じるおそれがあります。20℃以上の温度差がある場所に移動するような場合は、2時間以上放置してからご使用ください。

過度の飲食、極度の脱水症状のときは、測定を避ける

体内の水分変化や体温に大きく影響されるので、測定前に排尿をするなど毎日同じ時間・条件で測定してください。

■電磁波を発生する機器の近くでは使用しない
照明器具・医療用機器・通信機器（インバーター蛍光灯・マイクロ波治療器・携帯電話）などの一部の機器とは干渉して誤動作するおそれがありますので、事前に確認の上ご使用ください。

■素足になり、右図のように正しく電極に合わせて乗り、測定する
体脂肪率が低く表示されたり、測定エラー表示になる場合があります。
電極への足の合わせ位置は右図の通り、かかと側電極と、つま先側電極に同じくらいかかるように合わせてください。



■変化の推移を見る場合は、できるだけ同じ条件で測定する
測定値に誤差が生じるおそれがあります。測定精度を高めるには、起床後3時間以上、食後3時間以上経過した同じ時間帯でご使用ください。

■足の裏のゴミやホコリは、落としてから測定する
体脂肪率が低く表示されたり、測定エラー表示になる場合があります。

■足の内側（内もも）が触れないようにする
体脂肪率が低く表示されたり、測定エラー表示になる場合があります。
裸に近い状態で測定し、内ももが直接接触する場合は、乾いたタオルなどをはさんで測定してください。

次のことは、法律で定められています

必ずお守りください。

ご使用の区域	■精度の保証ができませんので、定められた地域以外では使用しない（☞ P.31）
定期検査	■2年に1回、都道府県、特定市、または指定定期検査機関が行う定期検査を受ける ■計量士の行う代検査を受ける

精度を保つために

本機は、精密に作られています。最良の状態に保つために、次のことを守り、ご使用ください。

設置について

■直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる所には置かない
■温度変化の激しい場所には置かない
■湿気の多い場所や水気のある所には置かない
■振動の激しい所には置かない
■化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に放置しない
■塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのある場所には置かない
■電源の周波数と電圧および許容電流値（または消費電力）に注意すること
■高酸素濃度、可燃性麻酔ガス内には置かない

取扱いについて

■絶対に、水洗いはしない
■過度の衝撃や振動を与えない
■コード部分を持って電源コードを引き抜かない
■長期間使用しない場合は、電源をOFFにし、コンセントから電源コードを抜く
■使用する前に試測を行い、正常かつ安全に作動することを確認する

保管について

■振動の激しい所に保管しない
■湿気やほこりの多い所に保管しない
■保管温度範囲外の場所に保管しない
■塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管する
■長期間使用しなかった時は、使用する前に本機を熟知した方が試測を行い、正常かつ安全に作動することを確認する

廃棄について

■本機を廃棄処分される際には、各自治体の指導に従って処理をしてください。

お手入れについて

■熱湯やベンジン、シンナー等は、使用しない
汚れたときは、水または家庭用洗剤を湿した布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

用語説明

本機及び付属の説明書は、計量法で用いられる用語で表記されておりますので、下記の用語説明をよくお読みになられた上でお使いください。

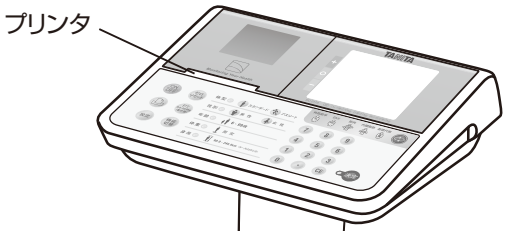
■ひょう量（ひょうりょう）
はかりの計量できる最大の重さを表します。
【例】ひょう量270kgの場合は、270kgまではかることができます。
※ひょう量を超える重さのものは、はかることができません。

■目量（めりょう）
はかりの1つの目盛りの量を表し、デジタル表示のはかりの場合、数字が切り替わる間隔を表します。
【例】目量0.1kgの場合は、表示が0.1kg間隔で増減します。

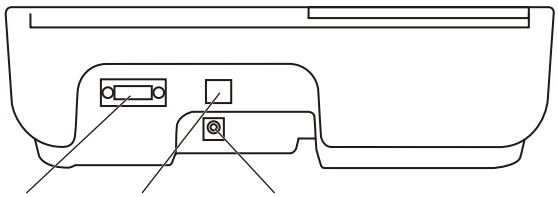
■風袋引き（ふうたいびき）
重さをはかるときに使う容器、袋、包装紙等を「風袋（ふうたい）」と呼びます。そして、風袋の重さを差し引いて正味量をはかることを「風袋引き（ふうたいびき）」といいます。

各部の名称と付属品

コントローラー

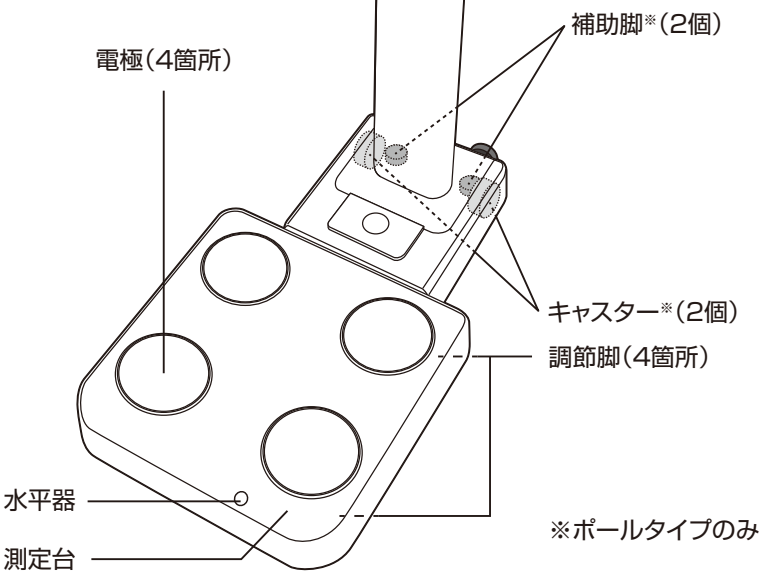


コントローラー背面



※RS-232CポートとUSBポートは、同時に使用することはできません。

測定台



※ポールタイプのみ

本機に記載されている図記号と意味

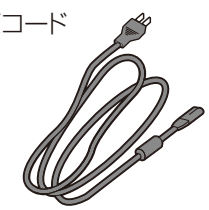
⊖—C—⊕	ACアダプタの極性（センタープラス）
⎓	直流
～	交流
⇄	入力、出力
⚠	注記をご確認ください。
	取扱説明書をご覧ください。

付属品

□取扱説明書（本書）・保証書

□AC アダプタ

□電源コード

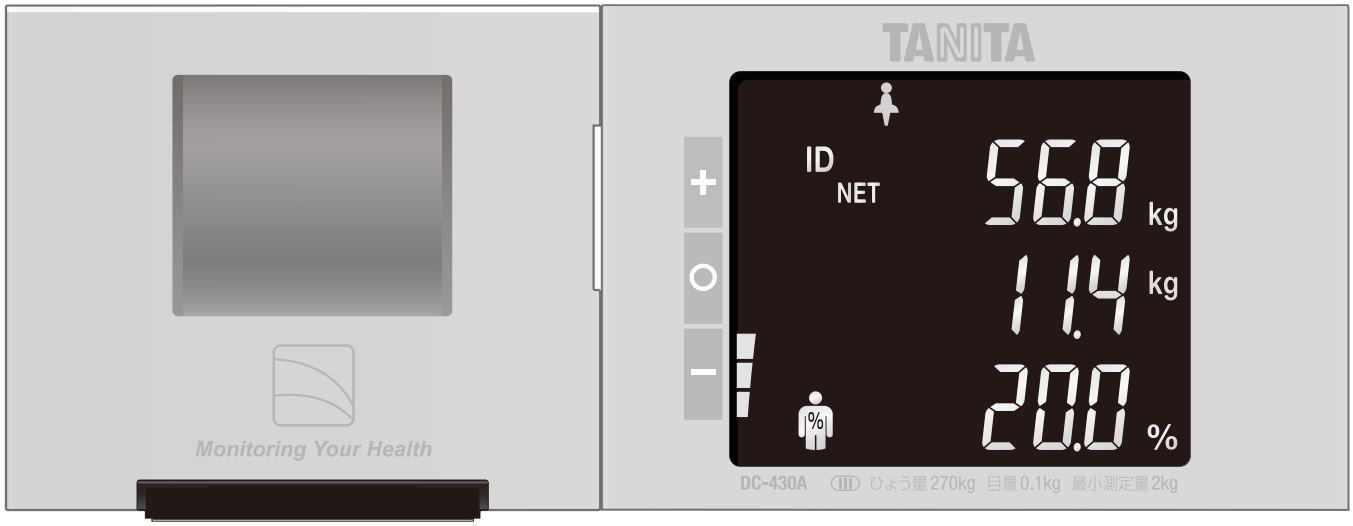


□組み立てガイド（ポールタイプのみ）

□結果解説ポスター

□ロール紙

画面とボタン



ボタンの意味

ON OFF	電源をON/OFFにする。
	紙送りする。 (☞ P.9)
設定	いろいろな機能を設定する。 (☞ P.9)
ゼロ リセット	ゼロリセットする。
着衣量 (PT)	着衣量を設定する。
体重計	体重計モードを選択する。 (☞ P.20)
決定	入力した値を確定する。

	ボタンを押すごとに、結果表示が切り替わります。 (☞ P.19)		
	体脂肪表示(%とkg) (☞ P.19, 21)		
	筋肉表示(%とkg) (☞ P.19, 22)		
	体水分表示(%とkg) (☞ P.19)		
	内臓脂肪レベル表示 (☞ P.19, 23)		基礎代謝量表示 (☞ P.19, 23)

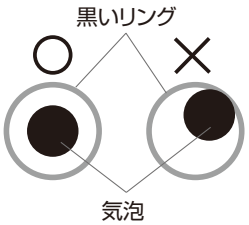
測定 お乗りください	測定台に乗るタイミングをガイドします。
体型 スタンダード アスリート	体型で「スタンダード」か「アスリート」のどちらかを選択します。
性別 男性 女性	性別で「男性」と「女性」のどちらかを選択します。
年齢 6 - 99	年齢は6才から99才までの範囲で入力できます。
身長 90.0 - 249.9 cm	身長は90.0～249.9cmの範囲で入力できます。

準備する

水平の確認

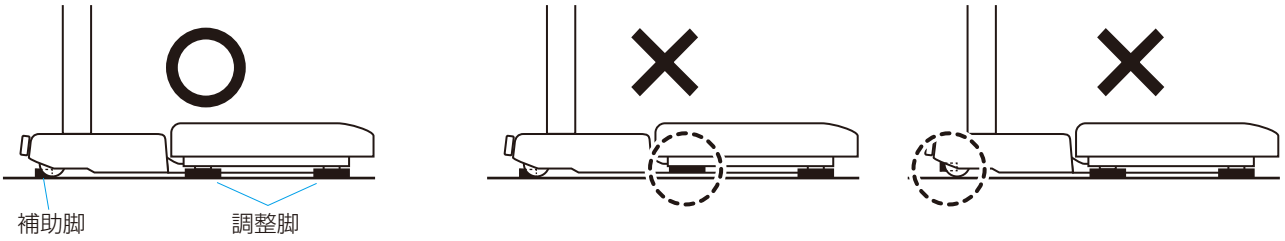
●正確に測定するために、本機をできるだけ水平に設置してください。

●調整脚（4箇所）を回転させ、水平器の気泡が中央に来るように調節してください。

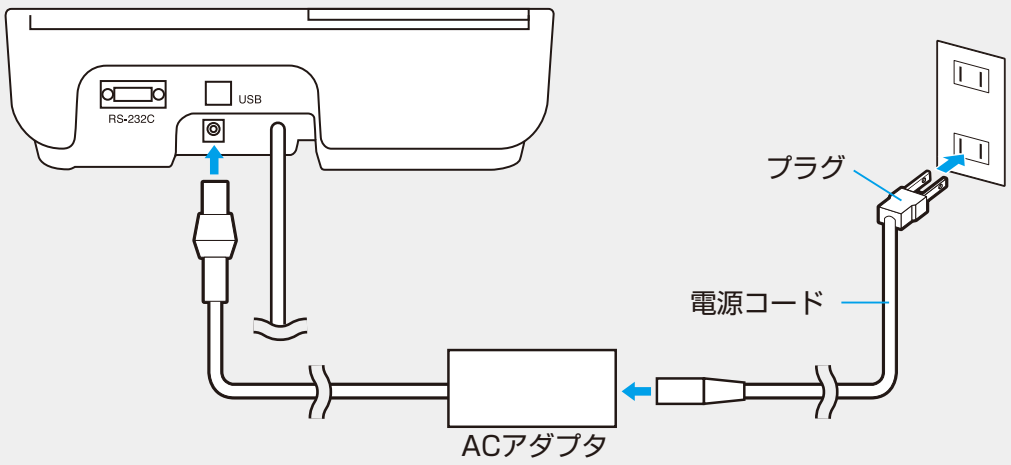


水平器を上から見た状態

●4箇所の調整脚および2ヶ所の補助脚（ポールタイプの場合）が浮かないように調整してください。



〈コントローラー背面〉



1.ACアダプタと電源コードを接続し、ACアダプタをコントローラーのジャックに差し込んでください。
2.電源コードのプラグ側をコンセントに差し込んでください。

⚠警告

■感電の原因となることがありますので、濡れた手でACアダプタやプラグを抜き差ししないでください。

印刷用ロール紙のセット/いろいろな設定

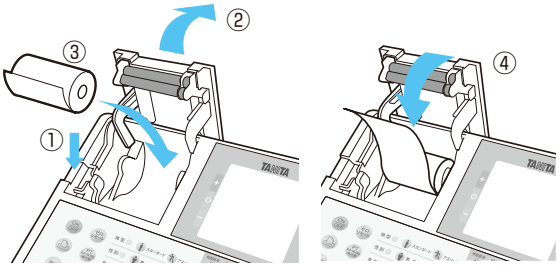
※画面のイラストは、各種の設定に応じて一部異なります。

印刷用ロール紙のセット

1

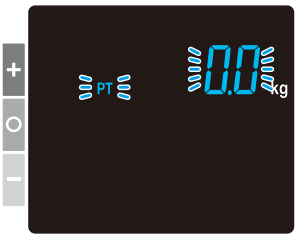
①電源OFFの状態で、
コントローラー左側面のレバーを押します。
②プリンタカバーを開けます。
③ロール紙をセットします。
ロール紙は、接着糊を剥がし、
約10cmほど引き出してください。

④プリンタカバーを戻します。



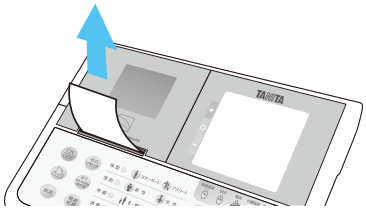
2 ON/OFF を押し、電源を入れます。

全点灯表示後、
0.0kg が表示されます。
プリンタカバーが開いた状態で電源を入れると
COPEn が表示されます(☞ P.26)。

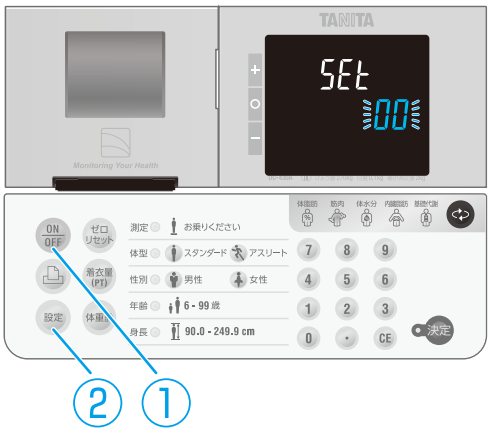


3 を押します。

ロール紙が自動で切れ、セットが完了します。
プリンタのオートカットがonの場合(☞ P.10)。



設定開始



1 ① ON/OFF で電源を入れます。0.0kg を表示します。

2 ② 設定 を押すと、SEt が表示され、
設定モードになります。
再度②を押すと、着衣量の画面に戻ります。

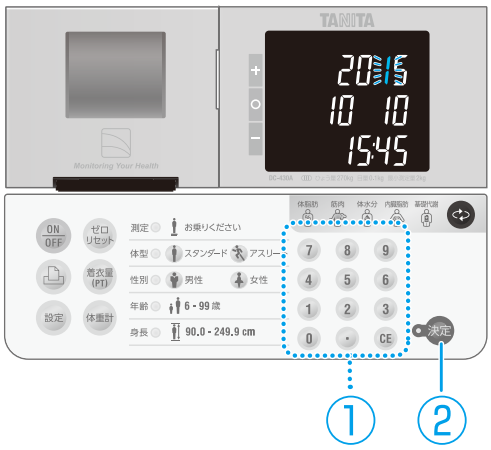
設定項目リスト

No.	設定内容	出荷時設定	詳細ページ
1	日時の設定		10
2	印刷枚数	1	10
4	プリンタのオートカット	1: on	10
5	ブザー音	1: on	11
7	ID番号設定	0: off	11
8	集団健診モード	0: off	11
9	アスリート選択設定	1: on	12
10	身長入力時の桁数の設定	0: 0.1cm単位	12
11	入力時の自動確定時間	0	12
18	目標体脂肪率の入力	0: off	13
20	印刷パターン設定(通常/短縮)	1: 通常	13
21	自動終了	0: off	13
45-68	印刷項目設定		16

いろいろな設定（つづき）

◆入力を間違えた場合は⇨ CE で戻ります

日時の設定



1 ①で「1」を入力します。

2 ②で決定します。

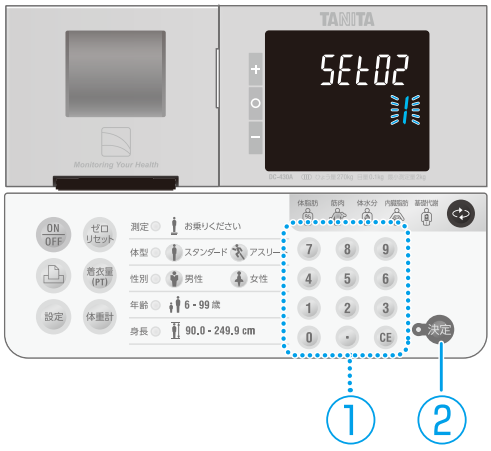
3 ①で日時を入力します。

例）2015年10月10日15時45分 → 1510101545

2015年1月1日から2099年12月31日までの範囲で入力できます。

4 ②で決定します。

プリント枚数



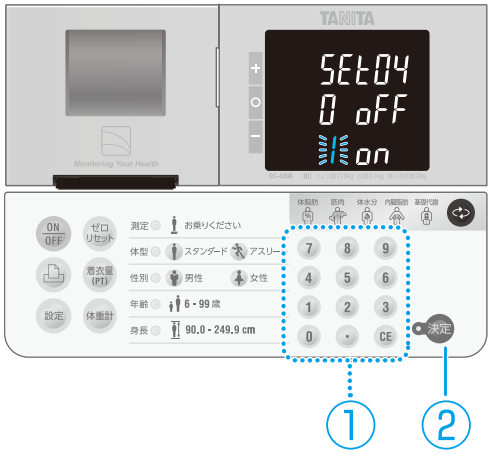
1 ①で「2」を入力します。

2 ②で決定します。

3 ①で枚数を入力します。（0～3）

4 ②で決定します。

プリンタのオートカットの有無（印刷後に用紙を自動的にカットする）



1 ①で「4」を入力します。

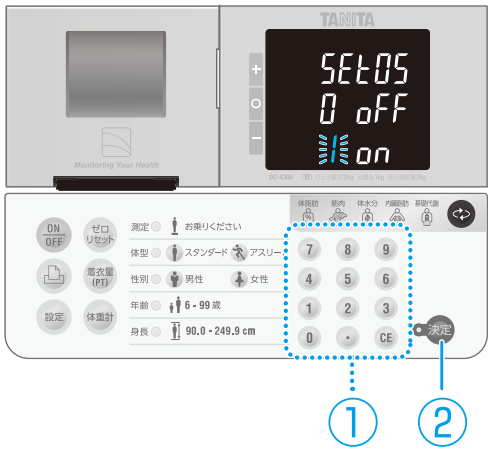
2 ②で決定します。

3 ①で有無を設定します。（1⇨on、0⇨oFF）

4 ②で決定します。

使いかた

ブザー音の有無



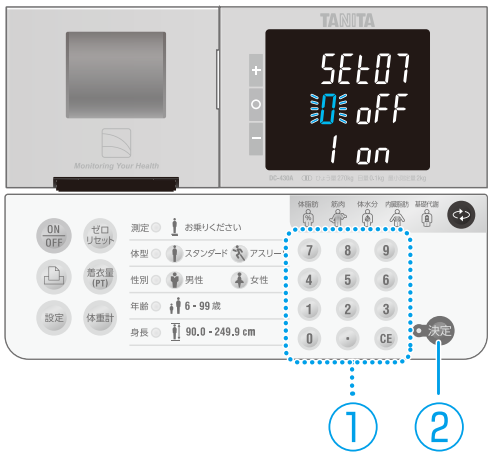
1 ①で「5」を入力します。

2 ②で決定します。

3 ①で有無を設定します。(1⇨on、0⇨oFF)

4 ②で決定します。

ID番号の有無(☞ P.17)



1 ①で「7」を入力します。

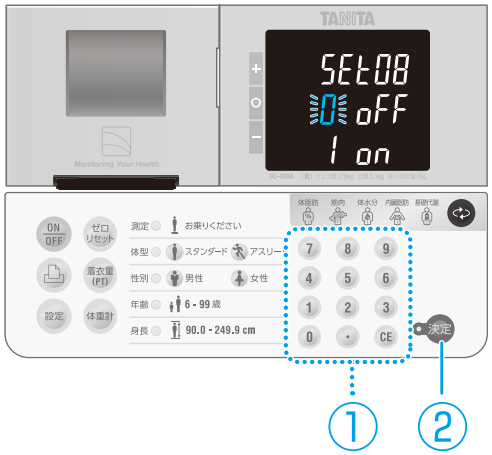
2 ②で決定します。

3 ①で有無を設定します。(1⇨on、0⇨oFF)

4 ②で決定します。

集団健診モードの有無

集団健診モードとは個人情報を入力した後に体重、体組成を測定するモードです。
0 oFF の場合(出荷時設定)、体重測定を行ってから個人情報を入力します。
1 on の場合、個人情報を入力してから体重、体組成を測定します。



1 ①で「8」を入力します。

2 ②で決定します。

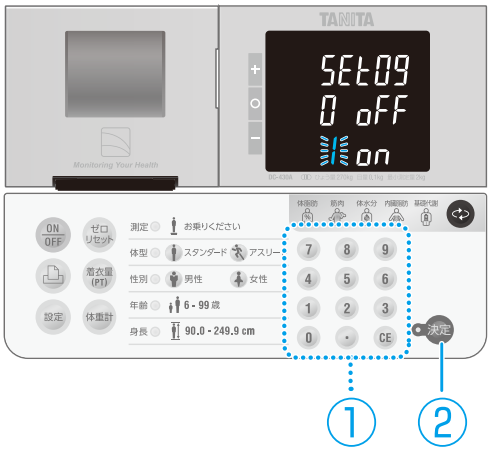
3 ①で有無を設定します。(1⇨on、0⇨oFF)

4 ②で決定します。

いろいろな設定（つづき）

◆入力を間違えた場合は⇨ CE で戻ります

アスリート選択の有無（体組成測定時 ☞P.17）



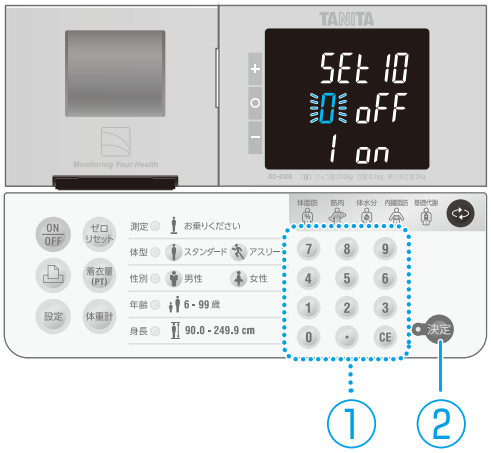
1 ①で「9」を入力します。

2 ②で決定します。

3 ①で有無を設定します。（1⇨on、0⇨oFF）

4 ②で決定します。

身長入力時の桁数の設定



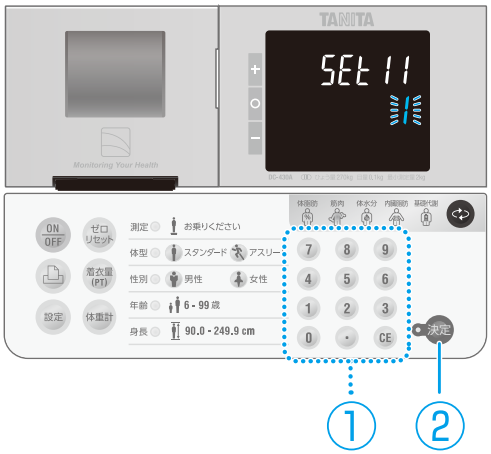
1 ①で「10」を入力します。

2 ②で決定します。

3 ①で単位を設定します。
（0 ⇨ 0.1cm単位、1 ⇨1cm単位）

4 ②で決定します。

入力時の自動確定時間（各設定時に数値入力後、決定を押さずに自動的に入力値を確定する機能）



1 ①で「11」を入力します。

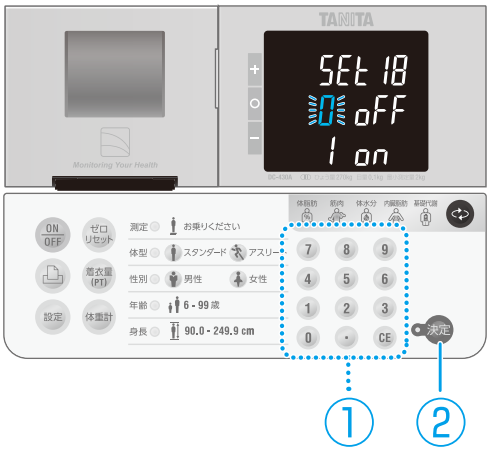
2 ②で決定します。

3 ①で秒数を設定します。（0～9）

4 ②で決定します。

・1～9秒に設定した場合:各設定時に数値を入力し、設定した秒数が経過すると自動的に数値が確定します。
・0秒に設定した場合:各設定時に数値を入力し、決定を押すと数値が確定します。

目標体脂肪率の入力の有無



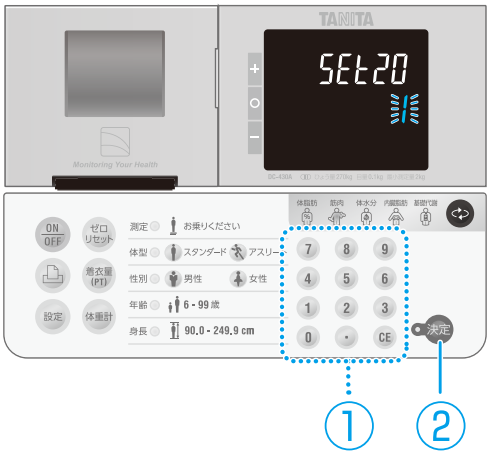
1 ①で「18」を入力します。

2 ②で決定します。

3 ①で目標体脂肪率の入力の有無を設定します。
（1⇨on、0⇨oFF）

4 ②で決定します。

印刷パターンの設定（☞ P.15）



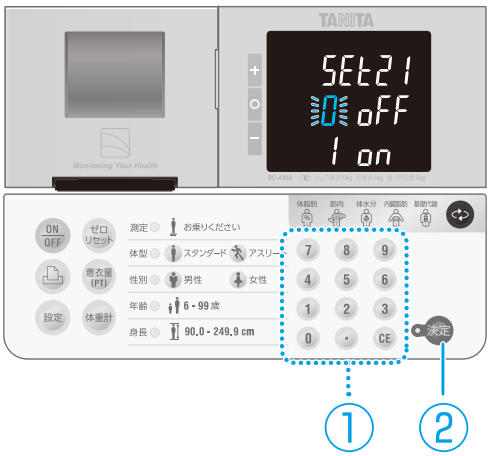
1 ①で「20」を入力します。

2 ②で決定します。

3 ①で印刷パターンを設定します。
（1⇨通常印刷、2⇨短縮印刷）

4 ②で決定します。

自動終了の有無（測定後、測定台から降りた際に、自動的に次の測定に進む機能）



1 ①で「21」を入力します。

2 ②で決定します。

3 ①で有無を設定します。（1⇨on、0⇨oFF）
onに設定した場合、自動的に次の測定に進みます。

4 ②で決定します。

いろいろな設定（つづき）

印刷項目内容一覧

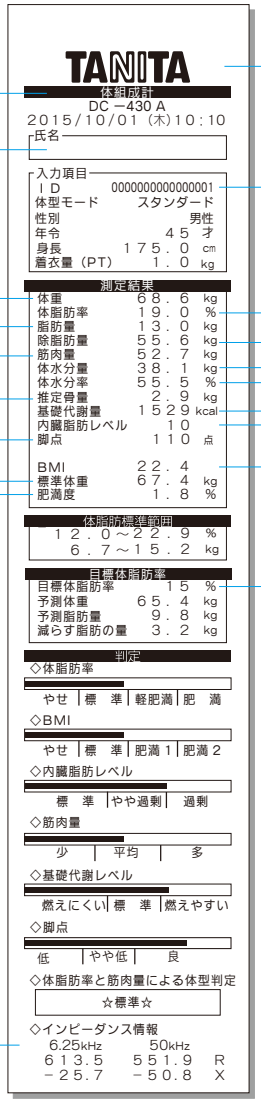
・各測定モード、設定内容により、下表の内容が印刷されます。
・体組成計モードにおける通常印刷時は、一部の項目に関して設定により印字を消すことが可能です（☞P.16）。

【印刷項目プリセット内容一覧】

項　目	体組成計モード 通常印刷			体組成計モード 短縮印刷			体重計モード
	スタンダード	アスリート	小児	スタンダード	アスリート	小児	
ロゴ	○	○	○	○	○	○	○
カテゴリーネーム	○	○	○	○	○	○	○
機種番号	○	○	○	○	○	○	○
日時	○	○	○	○	○	○	○
氏名	○	○	○	○	○	○	○
ID	○	○	○	○	○	○	○
体型	○	○		○	○		
性別	○	○	○	○	○	○	
年齢	○	○	○	○	○	○	
身長	○	○	○	○	○	○	
着衣(風袋)量	○	○	○	○	○	○	○
体重	○	○	○	○	○	○	○
体脂肪率	○	○	○	○	○	○	
脂肪量	○	○	○				
除脂肪量	○	○	○				
筋肉量	○	○	○				
体水分量	○	○	○				
体水分率	○	○	○				
推定骨量	○	○	○				
基礎代謝量	○	○					
内臓脂肪レベル	○	○					
脚点	○	○					
BMI	○	○	○	○	○	○	
ローレル指数			○			○	
標準体重	○		○				
肥満度	○		○				
標準範囲	○	○	○				
目標体脂肪率	○	○	○	○	○	○	
体脂肪率グラフ	○	○	○				
BMIグラフ	○	○					
内臓脂肪レベルグラフ	○	○					
筋肉量グラフ	○	○					
基礎代謝レベルグラフ	○	○					
脚点グラフ	○	○					
体型判定	○	○					
その他の情報	○	○	○	○	○	○	

○…印刷項目

体組成計モード 通常印刷の場合



カテゴリーネーム

氏名
必要に応じて手書きでご記入ください。

体重
測定した体重です。

脂肪量
からだの脂肪分だけの重さを表したものです。

筋肉量
脂肪量と骨塩量を除く組織量のことです。
本機で表示される筋肉量は、骨格筋、平滑筋（内臓など）と体水分量を含んだ値です。

推定骨量
骨全体に含まれる骨塩量を意味します。

脚点
脚点（脚部筋肉量点数）とは、体重に占める脚の筋肉量の割合が理想的とされる値と比較して、今のあなたの割合がどの程度なのか点数で表示したものです。
※17才以下は表示されません。

標準体重
BMIが22になる値を標準体重としています。

肥満度
$\frac{(体重)-(標準体重)}{(標準体重)} \times 100$で計算した値です。

インピーダンス情報
リアクタンス／レジスタンス情報が表示されます。
（測定結果の判定を左右するものではありません）。

ロゴ

ID
ID有に設定するとプリントされます
（初期設定値はID無しです）。

体脂肪率
体重に対して脂肪がどれだけであるかを示したものです。

除脂肪量
体重から脂肪の重さを除いた、脂肪以外の部分（筋肉、水分、骨など）の重さです。

体水分量／体水分率
からだの水分量のことで、血液やリンパ液、細胞間液、細胞内液などからなります。

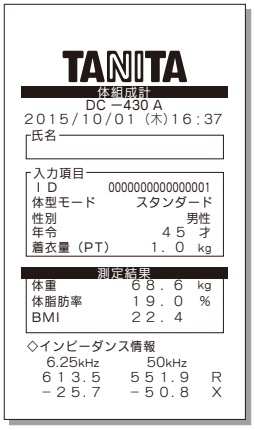
基礎代謝量
生きていくために最低限必要なエネルギーのことです。本機では基礎代謝基準値の年代ごとの平均値と統計的分布に基づいて基礎代謝を「燃えにくい－標準－燃えやすい」で表示します。
※参考／厚生労働省「日本人の栄養所要量」
※17才以下は表示されません。

内臓脂肪レベル
内臓脂肪は腹筋の内側についた脂肪のことで、見た目ではわかりにくいものです。内臓脂肪レベルの推移を長期的にとらえ、健康管理にお役立てください。
※17才以下は表示されません。

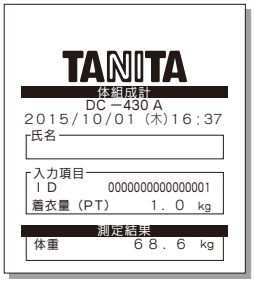
BMI
「体重（kg）／身長（m）^{2}」で計算されます。疾病が少ないのは「22」とされています。

目標体脂肪率
測定者が設定した目標とする体脂肪率です。その体脂肪率になるために必要な体脂肪の増減量も表示します。

体組成計モード 短縮印刷の場合



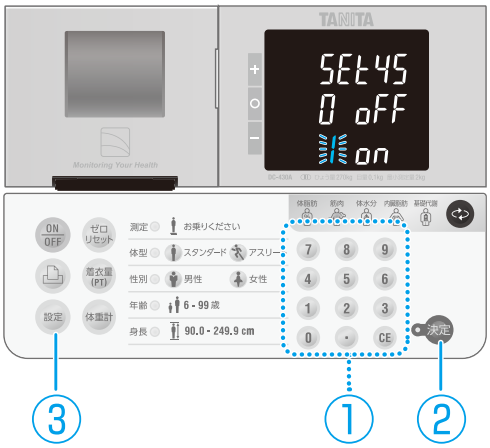
体重計モードの場合



いろいろな設定（つづき）

◆入力を間違えた場合は⇨ CE で戻ります

印刷項目の選択



1 ①で下表より設定を変更したい項目の番号を入力します。（45～68）

2 ②で決定します。

3 ①で有無を設定します。（1⇨on、0⇨oFF）

4 ②で決定します。

5 各種設定が終了し、
③を押すと設定モードは終了します。

設定項目内容

設定番号	設定内容	入力可能数字
SEt 45	脂肪量印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 46	除脂肪量印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 47	筋肉量印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 48	体水分量印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 49	推定骨量印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 50	基礎代謝量印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 52	内臓脂肪レベル印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 53	脚点印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 54	BMI印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 55	ローレル指数印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 56	標準体重印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 57	肥満度印刷	"0 oFF, 1 on"

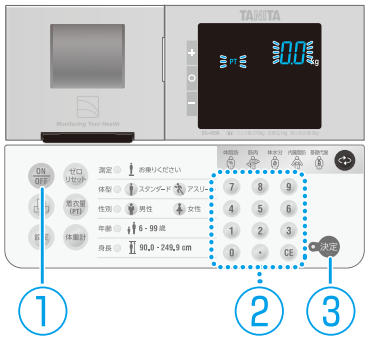
設定番号	設定内容	入力可能数字
SEt 58	体脂肪率適正範囲印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 59	体水分率印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 60	体脂肪率グラフ印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 61	BMIグラフ印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 62	内臓脂肪レベルグラフ印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 63	筋肉量グラフ印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 64	基礎代謝量レベルグラフ印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 65	脚点グラフ印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 66	体型判定印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 67	インピーダンス印刷	"0 oFF, 1 on"
SEt 68	タニタロゴ印刷	"0 oFF, 1 on"
	－	

設定45～68は、印刷項目の設定になります。
印刷パターンの設定で通常印刷が選択されているとき、これらの設定で、個々の印刷をon／oFFできます。
印刷パターンの設定で短縮印刷が選択されているとき、これらの設定は反映されません。

はかりかた 体組成計として使う

CE を押すと、1つ前のステップに戻ります。「入力時の自動確定時間」(☞P.12)に応じて、自動的にステップが進みます。

着衣量の設定



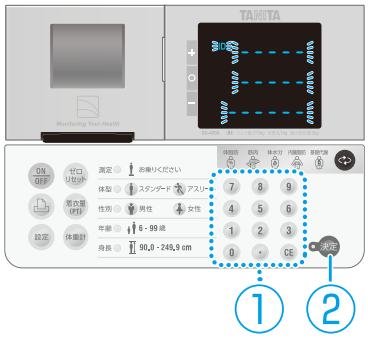
1 ①で電源を入れます。

2 ②で着衣量を入力します。(0.0～10.0kg)

3 ③で決定します。

着衣量を入力中には「PT」が表示され、確定すると「NET」が表示されます。

ID番号の設定



1 ①で ID番号を入力します。(16桁まで)

・「ID番号の有無」(☞P.11)がoFFの場合は表示されません。
・16桁まで入力でき、途中で 決定 を押すと確定されます。
・測定ごとに1つ繰り上がります。任意の番号を入力することもでき、その場合次の測定者はその番号から1つ繰り上がります。

2 ②で決定します。⇨「測定」が点滅します。

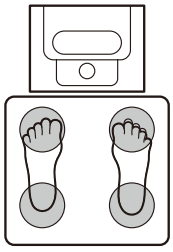
・「-----」で決定すると「体重の測定」に進みます。

体重の測定

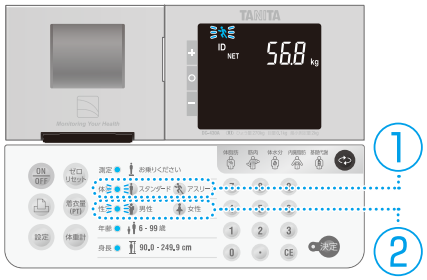
体組成の測定が終了するまで、測定台から降りないでください。

1 素足で、電極板に合わせて乗ります。

着衣量を設定していると
「NET」が表示されます。
⇨体重が確定すると「体型」が点滅します。



体型／性別の設定



1 ①体型を選択します。⇨「性別」が点滅します。

「アスリート選択の有無」がoFFの場合、
体型の選択はスキップします。(☞P.12)

2 ②性別を選択します。⇨「年齢」が点滅します。

アスリートについて

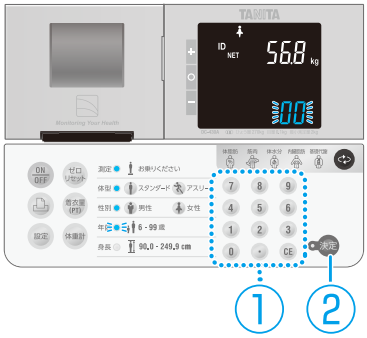
18才以上で次の条件に当てはまる方は「アスリート」を選択し、参考値としての測定をお勧め致します。

・1週間に12時間以上のトレーニングを行っている方。
・体育会やスポーツ事業団に所属し、競技会などを目指している方。
・ボディビルダーのように筋肉量が多くなるようなトレーニングを行っている方。
・プロスポーツ選手。

※「年齢」で17才以下を入力した場合は、「体型」で「アスリート」を選択した場合でも自動的に「スタンダード」に変更されます。

はかりかた 体組成計として使う（つづき）

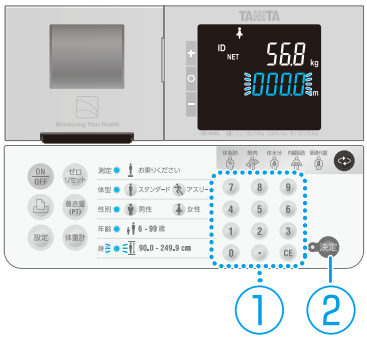
年齢の設定



1 ①で年齢を入力します。（6～99）

2 ②で決定します。
⇨「身長」が点滅します。

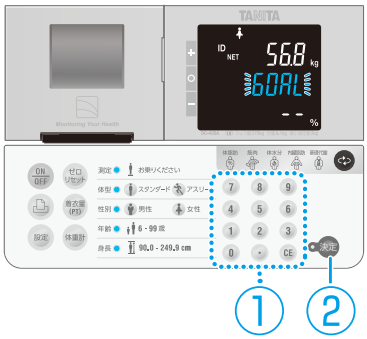
身長の入力



1 ①で身長を入力します。（90.0～249.9cm）

2 ②で決定します。

目標体脂肪率の入力



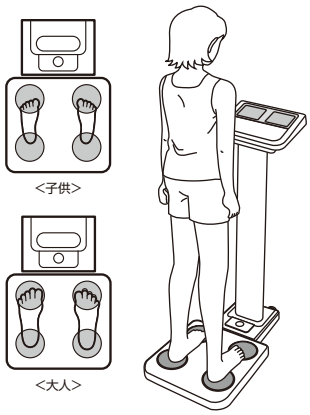
1 ①で目標体脂肪率を入力します。（4～55%）

2 ②で決定します。

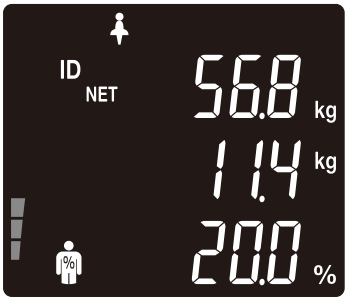
・「目標体脂肪率の設定」（☞P.13）が oFF の場合、「体組成の測定」に移ります。

体組成の測定

個人情報が全て入力されると、体組成の測定を開始します。
StAY が表示されたら右図のように測定姿勢をとり、測定中は動かないようにしてください。
「oooooo」が消えたら測定が終了し、測定結果が表示されます。



測定結果の表示



体重

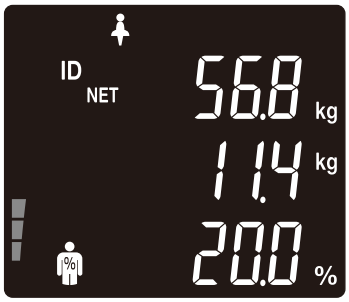
脂肪量

体脂肪率

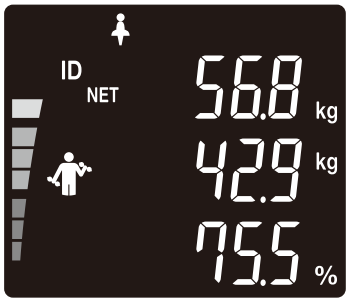
1 測定結果を表示します。
⇨自動的に印刷されます。
（「印刷枚数」の設定が0枚以外に設定されている場合）

- 測定結果表示中に、 を押すと、表示される内容が順次変わります。
- 測定台から降りると初期画面に戻ります。

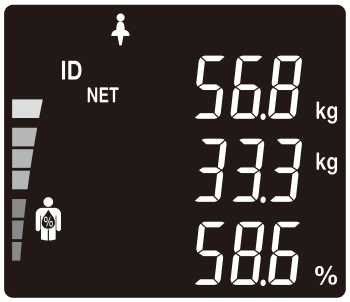
1.体脂肪



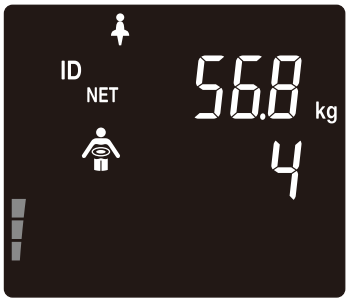
2.筋肉



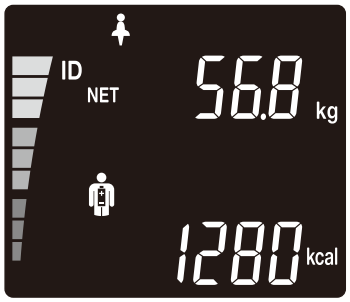
3.体水分



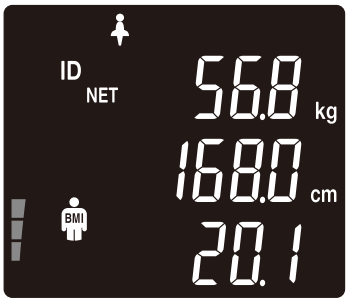
4.内臓脂肪

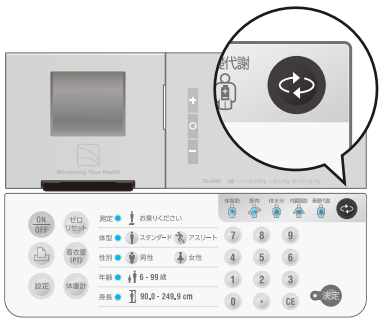


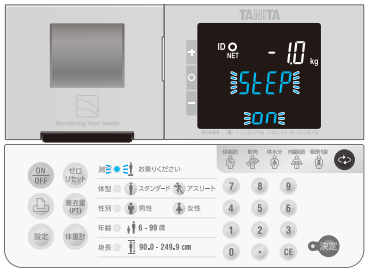
5.基礎代謝量



6.BMI







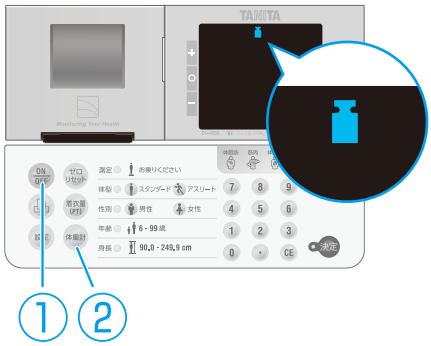
2 測定台から降りて、
決定 を押してください。
次の測定に進みます。

·「自動終了の有無」(☞P.13)が on の場合は、自動的に次の測定に進みます。

はかりかた 体重計として使う

CE を押すと、1つ前のステップに戻ります。「入力時の自動確定時間」(☞P.12)に応じて、自動的にステップが進みます。

モード切替

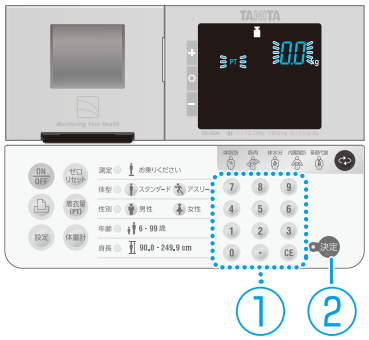


1 ① ON OFF で電源を入れます。

2 ② 体重計 を押すと、体重計モードになります。
画面に 👕 が点灯します。

・ 体重計 を押すごとに体組成計モードと体重計モードが切り替わります。

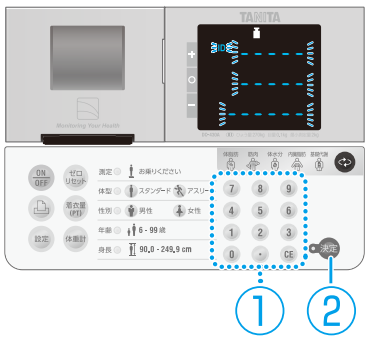
着衣量の設定



1 ①で着衣量を入力します。(0.0～10.0kg)

2 ②で決定します。

ID番号の設定



1 ①でID番号を入力します。(16桁まで)

・「IDの有無」(☞P.11)がoFFの場合は表示されません。
・16桁まで入力でき、途中で決定を押すと確定されます。
・測定ごとに1つ繰り上がります。任意の番号を入力することもでき、その場合次の測定者はその番号から1つ繰り上がります。

2 ②で決定します。

体重をはかる

1 「測定」が点滅したら、測定台に乗ります。

2 体重が安定すると左の画面のように変わり、
測定結果が表示されます。
⇨自動的に印刷されます
(「印刷枚数」の設定が0枚以外に設定されている場合)

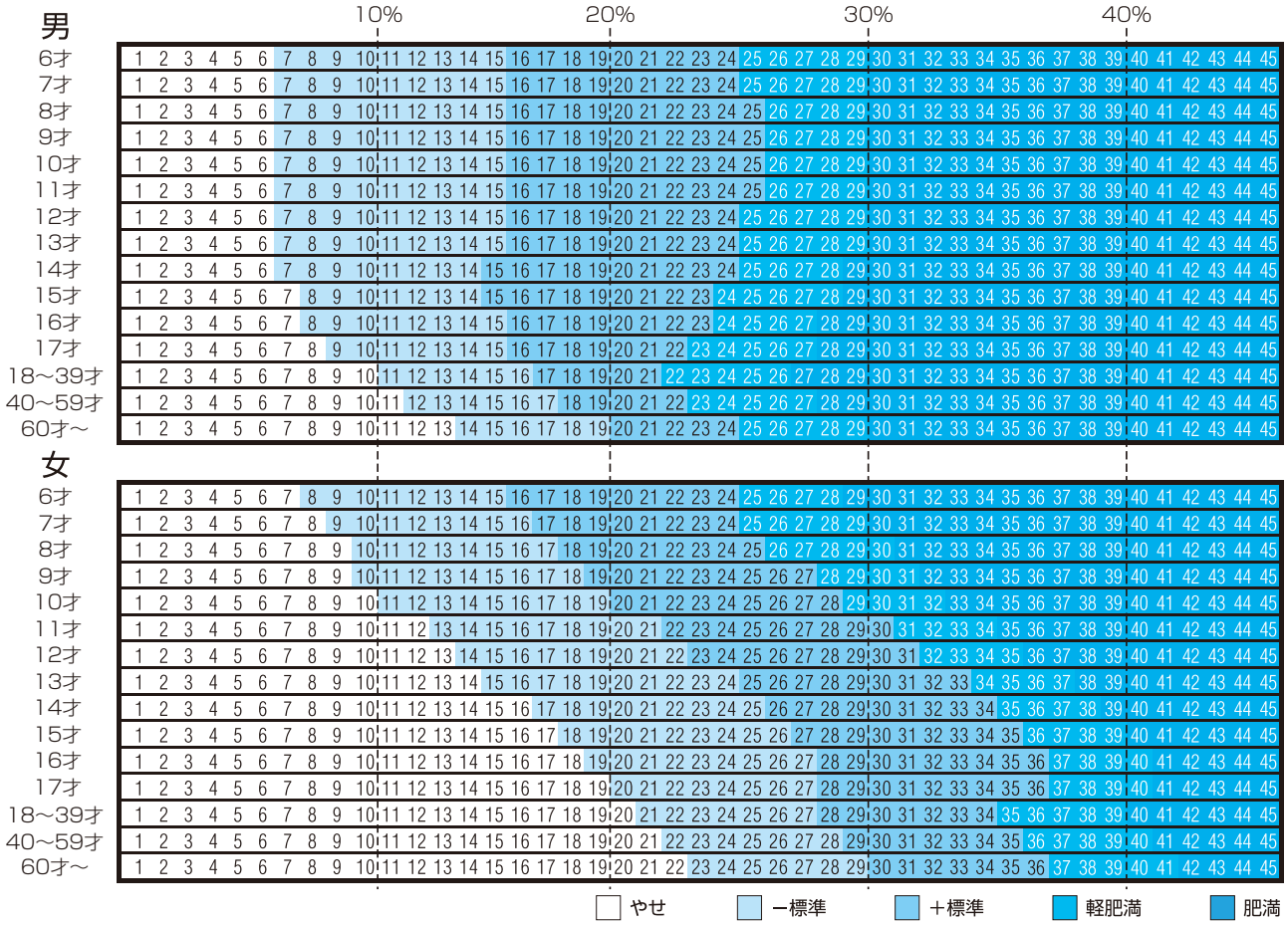
3 測定台から降りてください。次の測定に進みます。

使いかた

各種の判定基準

■体脂肪率による判定基準（6才以上対象、全身）

体脂肪率は、からだに含まれるすべての脂肪を体重に対する割合で表しています。本機では詳しい分析が可能な「DXA法(二重X線吸収法)」を基準に採用し、性別と年齢ごとに細分化された新判定法で健康チェックをサポートします。DXA法は体組成分析として精度良く身体の中を細分化測定できる方法として、近年医学界で主流となっています。タニタはさらに質の高い健康管理を提案するためにこのDXA法を導入し、体組成分析の基準法として採用しました。妊娠中や人工透析中の方、またはむくみ症状がある方は、参考値として変化の推移を見られることをおすすめします。



※WHOと日本肥満学会の肥満判定に基づき、DXA法（二重X線吸収法）によって作成しました。
※小児の判定基準は日本肥満学会小児肥満症マニュアル作成委員会の肥満度判定に基づき、DXA基準の体脂肪率により作成しました。

©2004 TANITA Corporation.

■BMI

「体重(kg) / 身長(m)^2」で計算されます。疾病率が最も少ないのはBMI値22とされています。

18.5未満	18.5～25未満	25以上
や　せ	正　常	肥　満

※標準体重はBMI=22で計算しています。

■ローレル指数

(体重(kg)／身長(cm)^3)×10^{7}で計算されます。小児の肥満の程度を表す指数とされています。
ローレル指数が130程度で標準的な体型とされています。

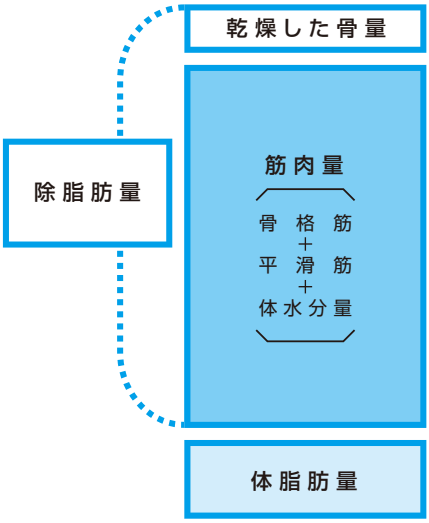
■小児の標準体重、肥満度について

本機では体組成計モードにおいて、入力された年齢が小児の場合（6～17才）、「学校保健統計調査方式※による肥満度判定」に則り、標準体重（身長別標準体重）、肥満度を算出しています。
※公財）日本学校保健会『児童生徒の健康診断マニュアル（改訂版）』平成18年

各種の判定基準（つづき）

■筋肉量について

筋肉は姿勢を保ったり、心臓を動かしたりしている組織です。体温を保ったり、体を動かしたりするためのエネルギーを作る工場という大切な役割もあります。
本機で表示される筋肉量は、骨格筋、平滑筋（内臓など）と水分量を含んだ値です。
筋肉量判定は、身長に対してどのくらい筋肉量があるか計算し区分したものです。この筋肉量判定を筋肉スコアとして以下のように表示します。値が大きいほど身長に対する筋肉量が多いことを示します。



全身筋肉スコア判定表

バーグラフ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
内　容	少					平均						多				
筋肉レベル	-4	-3		-2		-1		0		+1		+2		+3		+4

■骨量について

骨全体に含まれるミネラルの量、すなわちカルシウムの量を意味します。正しくは「骨塩量」といいますが、タニタでは親しみやすいように一般的に用いられている「骨量」という表示をしています。骨は何も変化しないように見えますが、実は活発な新陳代謝をくり返しています。そして体が必要とするカルシウムを供給したり、常に新しい骨をつくり出したりしているのです。骨は筋肉との関係が強い組織です。痩せすぎや運動不足は骨量減少につながります。適度な運動と食事によって筋肉と骨を一緒に維持･増進しましょう。

■推定骨量のめやす

最も骨量が多いと言われている20～40才での推定骨量を体重別に算出した結果です。

（タニタ体重科学研究所調べ）

男　性	体　重		
推定骨量平均値（kg）	60kg未満	60～75kg未満	75kg以上
	2.5	2.9	3.2

女　性	体　重		
推定骨量平均値（kg）	45kg未満	45～60kg未満	60kg以上
	1.8	2.2	2.5

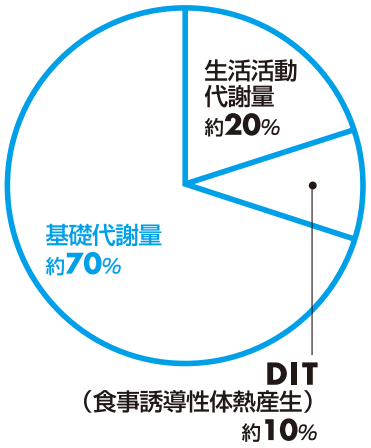
※以下の方は正しい値が出ない可能性がありますので、あくまでも参考値としてみてください。
- ●骨密度の低い骨粗鬆症患者
- ●高齢者、更年期もしくは閉経した女性
- ●性ホルモンの投与を受けている方
- ●妊娠中、授乳中の女性
- ●成長期の子供

※推定骨量は、除脂肪量（脂肪以外の組織）との相関関係をもとに統計的に推定した値です。骨の硬さ、強さ、骨折の危険を直接推定するものではありません。骨に関してご心配な方は、専門の医師へご相談されることをお勧めします。

■基礎代謝判定

基礎代謝とは、生きていくために最低限必要なエネルギーのことです。基礎代謝量が多い人は脂肪が燃えやすく肥満になりにくいと言われています。また、基礎代謝量が少ない人は脂肪が燃えにくく、太りやすいと言われています。基礎代謝量は、個人の身体的条件（太っている、痩せている、筋肉質等）、年齢、性別によって異なります。そのため、体重1kgあたりで消費する基礎代謝量を算出し、あなたの年代の平均的な値と比較して「燃えにくい－標準（平均的）－燃えやすい」を区分します。

1日の総消費エネルギー量の内訳
参考／厚生労働省「日本人の栄養所要量」より



年齢（才）	男性		女性	
	基礎代謝標準値（kcal/kg/日）	基礎代謝量（kcal/日）	基礎代謝標準値（kcal/kg/日）	基礎代謝量（kcal/日）
18～29	24.0	1520	22.1	1110
30～49	22.3	1530	21.7	1150
50～69	21.5	1400	20.7	1100
70以上	21.5	1290	20.7	1020

日本人の食事摂取基準　2015年版

基礎代謝判定表

バーグラフ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
内　容	燃えにくい（筋肉量少ない）					標準						燃えやすい（筋肉量多い）				

※17才以下の設定で測定した場合、この項目は表示･印字されません。

■内臓脂肪レベルの判定基準

内臓脂肪レベル（判定）を上手に使うには、内臓脂肪レベルの推移を長期的に捉え、健康管理にお役立てください。

	標準	やや過剰	過剰
レベル	9以下	10～14	15以上
判定の捉え方	今のところ心配ありません。これからもバランスのよい食事や適度な運動を維持しましょう。	適度な運動を心がけ、カロリー制限を行い、適正体重に向けて減量をはかりましょう。	積極的な運動や食事制限による減量が必要です。医学的な診断については、医師にご相談ください。

本機で測定した内臓脂肪レベルについて

- ●内臓脂肪蓄積のリスクを統計的に評価したものです。
- ●体脂肪率が低い方でも、内臓脂肪レベルが高い場合もあります。
- ●医学的な診断については、医師にご相談ください。

※17才以下の設定で測定した場合、この項目は表示･印字されません。

各種の判定基準（つづき）

■脚点(脚部筋肉量点数)について

脚点（脚部筋肉量点数）とは、体重に占める理想的な脚部筋肉量の割合と比較し、現在の状態を点数で表示したものです。脚の筋肉量が減少すると、足もとがふらついて転倒したり、歩く速度が低下して日常生活に支障が生じやすくなります。本機は、体重に占める脚部筋肉量の割合によって「脚点」を表示しています。
下の表を参考にして、ご自身の脚点を把握しましょう。
※17才以下の設定で測定した場合、この項目は印字されません。

脚点	脚点の判定内容	コメント
50~79点	低い	**体重に対する脚部筋肉量の割合が少ないです。** 日々の生活の中では転倒に気をつけ、無理のない範囲で少しずつ運動をして、筋肉量を増やしていきましょう。
80~89点	やや低い	**体重に対する脚部筋肉量の割合が減少しつつあり、筋力の低下が生じています。** がんばって運動を続けることが、脚点アップにつながります。
90~150点	良い	**体重に対する脚部筋肉量の割合が十分であるといえます。** 脚部筋肉量は何もしなければ自然と減少するので、運動を継続することが大切です。

※脚点の範囲は50～150点です。

■体脂肪率と筋肉量による体型判定

本機では、体脂肪率と筋肉量を考慮した体型判定が行えます。
体重は軽くても体脂肪率の高い人は「肥満」や「かくれ肥満」と評価されます。

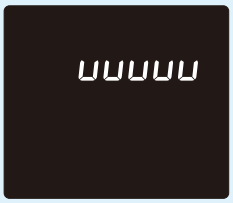
※17才以下の設定で測定した場合、この項目は表示･印字されません。

〈体脂肪率と筋肉量による体型判定〉

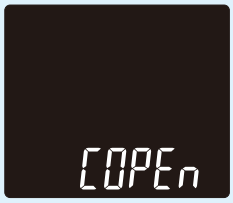
※身長に対してどのくらいの筋肉量があるか計算し区分けしたものです。

故障かな?

■修理を依頼される前、次のことをご確認ください。

症　状		ご確認ください
はかりかた	インピーダンス測定エラー 	●素足で測定してください。 ●足の裏が乾燥しているときは、電極部にスポイトで約0.5mLの水を垂らしてから測定してください。 ●設定の入力内容、または測定前の入力内容を確認してください。
	ゼロ点異常 	●電源を切り、測定台に乗っているものをおろしてから、電源を入れ直し、再度測定し直してください。
	体重値が安定しない	●振動がある場所に設置していませんか? ●測定台がかたむいていませんか? ⇨水平にしてください。(☞ P.8) ●測定台の隙間に物がはさまっていませんか? ⇨はさまっている物を取り除いてください。
コントローラー	電源を入れても何も表示しない	●電源コードやACアダプタが正しく接続されているか確認してください。
	- - - - - が表示される	●測定する重量が、測ることのできる範囲をこえています。

故障かな？（つづき）

症　状		ご確認ください
プリンタ	印刷用ロール紙紙切れ 	●印刷用ロール紙が入っていません。 ⇨用紙を補給してください（☞ P.9）。 ⇨プリンタを使用しない場合は、CE を押し、印刷枚数の設定をやり直してください（☞ P.10）。
	プリンタカバーオープン 	●プリンタカバーが開いています。 ⇨きちんと閉じてください。 ⇨用紙が斜めになっていないかご確認ください。
	印刷用ロール紙が出てこない	設定を確認してください。 ●『印刷枚数を設定する』で印刷枚数が0になっていませんか? ⇨1～3枚を設定してください（☞ P.10）。 ●プリンタが故障している可能性があります。 ⇨お買い求め先にご連絡ください。
	印刷用ロール紙は出てくるが、印字されない	●印刷用ロール紙が裏になっていませんか? ⇨正しくしてください（☞ P.9）。 ●プリンタが故障している可能性があります。 ⇨お買い求め先にご連絡ください。

お知らせ

●上記以外のエラー表示が出た場合は、一度電源を切り、再度測定してください。
何度も同じエラー表示が出る場合は弊社お客様サービス相談室までご連絡ください。

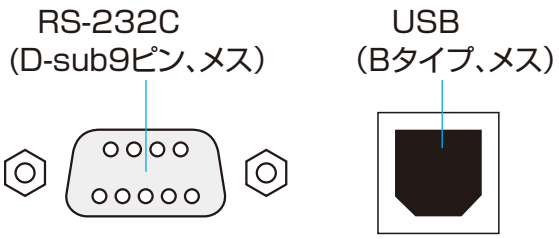
パソコンと接続するとき

■通信仕様

通 信 規 格	EIA RS-232C準拠
通 信 方 式	調歩同期式
信 号 速 度	9600bps
データビット長	8ビット
パ リ テ ィ	なし(NONE)
ストップビット	1ビット
フ ロ ー 制 御	なし

お知らせ

●本体背面にはRS-232Cコネクター(D-sub9ピン、メス)とUSBコネクター(Bタイプ、メス)が付いています。
●パソコンと接続する場合は、それぞれに合わせたケーブルで接続してください。
●ケーブルは付属しておりませんので、別途お買い求めください。
RS-232Cストレートケーブル：Dサブ9ピン(オス)-Dサブ9ピン(メス)
USBケーブル ：Aタイプ(オス)-Bタイプ(オス)
※USB1.1、USB2.0規格どちらでも可。



⚠注意

■USBポートにより通信する場合は、ご使用のパソコンによってはUSBドライバのインストールが必要となることがあります。
USBドライバは、タニタホームページ (http://www.tanita.co.jp) よりダウンロードできます。
■USBケーブルでパソコンと接続した場合、RS-232Cからの出力はされません。

パソコンと接続するとき（つづき）

■送信データ

送信データは、受信側（パソコン等）の状態にかかわらず測定直後に出力されます。このため測定以前に受信側が、常に受信可能な状態になっている必要があります。詳しくは、別紙「シリアル出力説明書」をタニタホームページ（http://www.tanita.co.jp）よりダウンロードしてご確認ください。

●PCモードで使用する場合は、別紙「PCモード説明書」をタニタホームページ（http://www.tanita.co.jp）よりダウンロードしてご確認ください。
※PCモードとは、パソコン側より個人データを送信し、測定結果を受信できるモードのことです。

データフォーマット

測定データは、以下のようなフォーマットで出力されます。
●各データはカンマ（,）で区切られます。
●ターミネーター（データの最後）は、CR（ASCIIコード　ゼロ0DH）、LF（ASCIIコード　ゼロ0AH）です。

以下は参考資料であり、実際はここに記載されていないデータも出力されます。
また、一部、桁数を省略しております。

出力例

型番		IDナンバー		日付		時間	
MO	XXXXXXX	ID	XXXXXXX	DA	yy/mm/dd	TI	hh:mm

体型		性別		年齢		身長	
Bt	0または2	GE	1または2	AG	XX	Hm	XXX.X

着衣量（風袋量）		体重		体脂肪率		脂肪量	
Pt	XX.X	Wk	XXX.X	FW	XX.X	fW	XXX.X

除脂肪量		筋肉量		筋肉スコア		推定骨量	
MW	XXX.X	mW	XXX.X	sW	1～16	bW	XXX.X

体水分量		BMI		標準体重		肥満度	
wW	XXX.X	MI	XXX.X	Sw	XXX.X	OV	XXX.X

内臓脂肪レベル		脚点		基礎代謝量		基礎代謝判定	
IF	1～59	LP	XXX	rB	XXXXX	rJ	1～16

MEMO

製品仕様

名　称		デュアル周波数体組成計　DC-430A
体重測定部	計量方式	電気抵抗線式はかり
	型式承認番号	第D141号　精度等級3級
	ひょう量	270kg（風袋量を含む）
	目量（最小表示）	0.1kg
	風袋引き量（着衣量）	0.0～10.0kg（0.1kg単位）
	測定範囲	2.0～270.0kg（0.1kg単位）
インピーダンス測定部	測定方式／判定基準	デュアル周波数BIA法／DXA法
	測定周波数	6.25kHz／50kHz
	測定電流	90μA以下
	電極材質	ステンレス
	測定部位	全身
	測定範囲	150～1200Ω（6.25kHz）／150～1000Ω（50kHz）

測定モード別　仕様

		体組成計モード	体重計モード
入力項目	着衣量(風袋引き量)	0.0～10.0kg (0.1kg単位)	
	ID	0～9999999999999999 (16桁)	
	体型	スタンダード / アスリート	—
	性別	男性 / 女性	—
	年齢	6～99才(スタンダード) / 18～99才(アスリート)	—
	身長	90.0～249.9cm	—
	目標体脂肪率	4～55% (1%単位)	—
出力項目	体重	2.0～270.0kg (0.1kg単位)	
	体脂肪率	3.0～75.0% (0.1%単位)	—
	脂肪量	0.1kg単位	—
	除脂肪量	0.1kg単位	—
	筋肉量	0.1kg単位	—
	体水分量	0.1kg単位	—
	体水分率	0.1%単位	—
	推定骨量	0.1kg単位	—
	基礎代謝量	0～9999kcal/日 (1kcal/日単位)	—
	内臓脂肪レベル	1～59レベル (1レベル単位)	—
	脚点	50～150点(1点単位)	—
	BMI	0.1単位	—
	標準体重	0.1kg単位	—
	肥満度	0.1%単位	—
	判定/グラフ	体脂肪率/BMI/内臓脂肪レベル/筋肉量 /基礎代謝レベル/脚点/体型判定	—
	インピーダンス	リアクタンス、レジスタンス	—

その他仕様

外部インターフェース		RS-232C / USB
表示部		セグメントLCD
入力方式		メンブレンスイッチ
電源		ACアダプタ(DC12V 3A)
消費電流		0.3A以下
使用条件	温度範囲	5～35℃
	湿度範囲	30～80%(結露なきこと)
保管条件	温度範囲	-10～60℃
	湿度範囲	10～90%（結露なきこと）
本体質量	セパレートタイプ	7.0kg
	ポールタイプ	13.5kg

※デザインおよび製品仕様は予告なく変更する場合があります。

必要なとき

重力補正について

お知らせ

■本機は地球の重力差を補正し使用地域にあわせて正しい測定結果が得られるように調整されています。
⇨本機に貼ってある「重力加速度シール」の番号で示される地域以外ではご使用にならないでください。（計量法）
引っ越し等により、使用できる地域以外に移動する場合は、お買い求め先にご連絡ください。

使用地域番号	使用できる地域	重力加速度(m/s²)
(1)	釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、宗谷総合振興局管内、留萌振興局管内、オホーツク総合振興局管内、根室振興局管内、釧路総合振興局管内	9.804～9.807
(2)	札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩市、北広島市、石狩振興局管内、後志総合振興局管内、上川総合振興局管内、空知総合振興局管内	9.804～9.806
(3)	函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、北斗市、渡島総合振興局管内、檜山振興局管内、胆振総合振興局管内、日高振興局管内、十勝総合振興局管内	9.803～9.806
(4)	青森県	9.802～9.804
(5)	岩手県、秋田県	9.800～9.804
(6)	宮城県、山形県	9.799～9.802
(7)	福島県、茨城県、新潟県	9.798～9.801
(8)	栃木県、富山県、石川県	9.797～9.800
(9)	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈支庁管内、小笠原支庁管内を除く）、福井県、京都府、鳥取県、島根県	9.796～9.799
(10)	神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県	9.795～9.798
(11)	東京都（八丈支庁管内に限る）、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県	9.794～9.797
(12)	熊本県、宮崎県	9.794～9.796
(13)	鹿児島県（奄美市、大島郡を除く）	9.794～9.797
(14)	東京都（小笠原支庁管内に限る）	9.794～9.795
(15)	鹿児島県（奄美市、大島郡に限る）	9.791～9.794
(16)	沖縄県	9.789～9.792

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2、修理を依頼されるとき

●保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、本機に保証書を添えてお送りください。

●保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本機の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 タニタ

本社・お客様サービス相談室　〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

タニタ サービスセンター　〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス　http://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先

フリーダイヤル 0120-133821

携帯電話からはフリーダイヤルに繋がりません。

携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-783551

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間/9:00～18:00(祝日を除く月～金)

© 2015-2016 TANITA Corporation

DC4307611(1)-1609FA